

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい【ヘブル 12:2】

第五主日礼拝 【第一部】 午前 9:00-10:00
【第二部】 午前 11:00-12:00
(第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 イザヤ書 12章 1-2節 (旧約 1186)

賛 美 神はわがやぐら (インマヌエル 32)

交 読 詩篇 91篇 1-16節 (旧約 1030)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 列王記 第二 7章 1-16節 (旧約 662)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教

『主が天に窓を』

松井元始牧師

応答のとき

賛 美 主 宣えば (インマヌエル 290)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈祷〉

【第1部】松井師

【第2部】松井師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会

牧師:松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『主が天に窓を』 (列王記 第二 7章1-16節) 2022.10.30.

〈はじめに〉 今、私たちはどんな問題課題に取り囲まれて、どんな状況に置かれているでしょうか。その先行きにはどんな展望ができるでしょうか。

I 厳しい現状の中で(6:24-7:2)

① サマリヤの飢饉(6:24-7:2)

北イスラエル王国のサマリヤはアラム軍に包囲されて大飢饉に陥り、不適品さえ高値で取引され、ひいては嬰兒を食す者が出るほどでした。王はこれを主のせいにし、エリシャ殺害の使者として侍従を送ります。王も侍従も主を語りながら、主に期待していません。

② みことばを聞く飢饉(アモス 8:11)

牧師の高齢化と献身者不在で、教会も従来の体制を維持できなくなっています。兼任・配信などで補おうとしていますが、限界もあります。なぜ私たちはこんな状況に陥ったのでしょうか。みことばを聞くことの飢饉が来ることを、アモスは預言しています。

③ 主のことばを聞きなさい(7:1-2)

そんな中、預言者エリシャは、明日この町で、穀物が大安売りされるようになる、と主のことばを語ります。侍従は「そんなことがあるだろうか」と一笑しますが、エリシャは厳粛な言葉を彼に告げます。自分の見識と主のことばが相反する時、私たちはどうするでしょう。

II できることをする

① 町の外にいた病人(3-11)

病ゆえに城外にいた 4 人の病人は冷静に状況判断し、座して死を待つよりは、一縷の生きる望みを抱いて敵陣に向かいました。すると陣営は食料・物資を残して無人で、彼らはそれを接収するうちに、同胞にも分かつべきと示され、町の門衛に知らせました。

② 自らが動くことから始まる

取り囲む現状は厳しく、持てるものには限りがあります。しかし何もできないのでしょうか。自分には何もできないからと言って、問題を誰かに押し付けて待つだけになりがちです。4 人は生きる道を見出し、力を振り絞りました。私にもまだできることがありますか。

③ 事を行わせてくださる主(ピリピ 2:13-14)

知らずにしたことを主が用いられることがあります。4 人はエリシャの預言も聞かず、敵を追い払ったわけでもありません。ただそこに居合わせただけです。王の家来も偵察を送っただけです。各自がしたことは些細でも、主はそれらをつなぎ合わせて事を行われます。

III 不思議な道へ

① 奇跡は信仰を育てるか

モーセ、エリヤとエリシャ、イエスの時代に多くの奇跡が見られました。しかし、奇跡を見た人々の信仰は一時興奮しても、永続的な神への信頼につながったでしょうか。イエスもマタイ 12:39 で警告されています。主が働いてくださるから、私もできることをするので。

② 御手の中で

アラム軍は騒音に慌てふためき逃げ去りました。それは主のなされたことで、不思議です。主は今も働かれています。しかし、それを見出し、伝え、手にいれる者、主の御手の中で用いられる人が必要です。そのために私たちはどんな祈りをしたら良いでしょうか。

③ 主は天に窓を作り

この物語は二重の意味合いで主のことばは実現すると告げています。厳しい中でも主は生きようとする者を励まし、支えられます。従来の解決法でない不思議な道かもしれません。それは、手元にある使い慣れたものをもう一度取り上げることでないでしょうか。

〈おわりに〉 私たちは厳しい状況下でも、何もできなくなったわけではありません。それで何になる、と言わずに、もう一度取り上げてみましょう。また、主が私を用いてくださるようにと御手にゆだねましょう。主は不思議を行われる方です。(H.M.)